

対 タイ王国 事業展開計画

2020年2月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>戦略的パートナーシップに基づく双方の利益増進及び地域発展への貢献の推進</p>																	
<p>重点分野 1 (中目標)</p>	<p>持続的な経済の発展と成熟する社会への対応</p>																	
<p>開発課題 1-1 (小目標) 産業人材の育成</p>	<p>【現状と課題】 中進国入りしたタイが今後も更に発展を遂げるためには、産業競争力の維持・強化が必要であり、産業の高付加価値化、生産性の向上が課題となっている。日タイの経済的交流が活発であることを踏まえ、タイの成長が日本の成長にも資することに留意する必要がある。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 日タイ双方への裨益の視点から、産業競争力強化のため、産業の高付加価値化・生産性向上の基礎となる産業人材の育成に関する協力を行う。</p>												
	<p>協カプログラム名</p>	<p>協カプログラム概要</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<table border="1"> <tr> <td>2018 年度以前</td> <td>2019 年度</td> <td>2020 年度</td> <td>2021 年度</td> <td>2022 年度</td> <td>2023 年度</td> <td>支援額 (億円)</td> <td>備考</td> </tr> </table>						2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	支援額 (億円)	備考
	2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	支援額 (億円)	備考										
	<p>産業人材育成プログラム</p>	<p>高等教育支援等を通じた産業人材の育成を行う。</p>	<p>アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクトフェーズ4</p>	<p>技プロ</p>	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>21.57</td> <td></td> </tr> </table>												21.57	
									21.57									
<p>産業人材育成に係るボランティア派遣</p>			<p>JOCV/SV</p>	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														
<p>設計エンジニア育成eラーニングシステムを中心とした産学連携教育プログラムの普及・実証事業</p>	<p>普及・実証・ビジネス化事業</p>	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																
<p>イノベーター・アジア</p>	<p>国別研修</p>	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																





		自動洗浄機能付搾乳システム及び生乳冷却機による生乳の品質向上に関する普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■							
		貿易円滑化促進のためのデータ分析・リスク管理能力強化	個別専門家	■	■							
		パンスー駅周辺地区再開発促進に向けたスマートシティ構想の事業提案にかかる情報収集・確認調査	基礎情報調査	■								
		水道分野中核人材育成プログラム	国別研修	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		エネルギー政策	国別研修	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		食料安全保障のための農学ネットワーク	国別研修	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		未来型都市持続性推進プロジェクト	技プロ	■	■	■	■	■	■	5.98	■	■

開発課題 1-4 (小目標) 水災害を始めとする防災の推進	【現状と課題】 2011年下半年に発生した大洪水により、タイの社会・経済に甚大な被害を及ぼすとともに、日系企業が多く進出している工業団地も浸水し、日本を含む世界のサプライチェーンに深刻な影響を与えた。そのため2012年以降の洪水期に向けた短期的及び中長期的なハード・ソフトの洪水対策に取り組むことが、タイ政府の喫緊の課題となっている。			【開発課題への対応方針】 防災・治水対策として実施したチャオプラヤ川流域の洪水対策マスタープランに基づき短期的及び中長期的なハード・ソフトの洪水対策を提言するとともに、タイ政府の行う対策への技術的支援や防災体制整備のための協力を行う。また、研修等を通じてタイにおける洪水対策の能力向上を図る。更に、タイが加盟するメコン河委員会との連携を強化する。						支援額 (億円)	備考		
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			2023 年度	
	防災推進プログラム	ハード・ソフトの洪水対策の協力、農業・道路等セクターでの対策、防災体制整備のための協力等を行う。	防災推進に関する課題別研修他	課題別研修他									
開発課題 1-5 (小目標) 環境・気候変動対策	【現状と課題】 タイでは急速な工業化・都市化に伴い、人々の生活環境、健康に影響を与える環境汚染が課題となっている。タイ政府は、環境セクターの改善に積極的に取り組んでいるものの、法律、規制の執行力や行政横断的な取組等に改善が必要である。また、地球規模課題である気候変動に関しては、タイ政府も温室効果ガスの削減や適応策の策定に向け主体的に取り組んでいるものの、特に施策実行能力の強化が求められている。			【開発課題への対応方針】 公害・環境汚染を主とする環境問題を適切に対処するための国家レベルの制度整備・モニタリング能力の向上を行うとともに、地方レベルの環境問題解決のための行政の能力強化を支援する。また、環境負荷を減らし、都市環境を改善する観点から、都市部の交通システムの拡充等を実施・検討する。気候変動対策については、都市レベルでの気候変動対策のモデル構築を行いつつ、タイでの取組成果を周辺国に発信する支援を行う。						支援額 (億円)	備考		
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			2023 年度	
	環境・気候変動対策プログラム	公害・環境汚染を主とする環境問題を適切に対処するための国家レベルの制度整備・モニタリング能力の向上及び地方レベルの環境問題解決のための計画立案・施策実施にかかわる行政の能力強化を支援する。	バンコク都気候変動マスタープラン2013-2023実施能力強化プロジェクト	技プロ									4.50
			環境・気候変動対策支援に係るボランティア派遣	SV									
			タイにおける廃棄物適正処理工程構築支援	草の根技協									
			次世代焼却炉による医療廃棄物適正処理 普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業									
			PRTR制度と市民参加によるエコインダストリアルタウン新規汚染管理モデル構築	個別専門家									
			効果的な廃棄物管理実施能力向上	個別専門家									
産業廃棄物適正管理支援のためのシステム運営事業案件化調査			案件化調査										

<p>開発課題 1-6 (小目標) 社会保障(高齢化対策、社会的弱者支援)</p>	<p>【現状と課題】 タイはASEAN諸国の中でも高齢化の進展が早く、行政能力やコミュニティの役割を踏まえた保健医療・福祉及び介護制度を含む社会保障制度の整備・充実が求められている。また、社会的弱者への支援等、人間の安全保障の観点から解決していくべき課題が存在する。</p>		<p>【開発課題への対応方針】 高齢化対策について、日本の知見・経験も共有しつつ、制度・サービスへの行政能力強化に関する支援を実施する。また、人身取引被害者や障害者をはじめとする社会的弱者のエンパワメントを促進する支援を行う。</p>											
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	年度						支援額 (億円)	備考		
					2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度				
	<p>社会保障プログラム</p> <p>高齢化社会に対応するための保健医療・福祉・介護の制度・サービス導入のための支援を実施するとともに、人身取引被害者や障害者をはじめとする社会的弱者のエンパワメントを促進する支援を各スキームにより支援する。</p>		グローバルヘルスとユニバーサルヘルスカバレッジのためのパートナーシッププロジェクト	技プロ	■	■	■					2.76		
			高齢者のための地域包括ケアサービス開発プロジェクト	技プロ	■	■	■	■				3.02		
			高齢化対策・障害者支援・人身取引対策支援に係るボランティア派遣	JOCV/SV	■									
			バンコク都における介護予防推進プロジェクト	草の根技協	■	■	■							
			日本の介護予防システムを活用した高齢者の健康増進に係る普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	■							
			透析技術トレーニングセンター開発計画における水浄化およびアセアン諸国を対象とした透析技術普及促進事業	民間提案型技協	■	■	■							
			大腸がん集団検診普及促進事業	民間提案型技協	■	■	■							
			北タイの保健センターにおけるHIV感染者ケアの強化	草の根技協	■	■								
			介護支援ロボット「みまもりシステム」活用による地域福祉・保健医療の向上に向けた普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	■							
			移動式胎児心拍計導入による周産期死亡改善事業	草の根技協	■	■	■	■						
		業事規制及び調和化	個別専門家	■	■									
		デングウイルス感染症の流行阻止とその対策費用の削減に対する普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	■								
	障害多様性を踏まえたスポーツ活動を通じたインクルージブ開発の実現	第三国研修	■	■	■									

重点分野2 (中目標)	ASEAN域内共通課題への対応										
開発課題2-1 (小目標) ASEAN・メコン地 域連結性強化、 格差是正	【現状と課題】 インドシナ半島の中心に位置するタイは、設立50周年を迎えたASEANにおいて中核的役割を担うとともにメコン地域の発展の鍵となっている。ハード・ソフトのASEAN連結性の向上や域内の格差是正が重要な課題となっている。タイはASEAN共同体実現の推進において中核的役割を担っており、ASEAN・メコン地域全体のニーズも踏まえた、タイとの協働によるASEAN共同体推進への取組が重要である。タイが主導するACMECSマスタープランの実現等、メコン地域独自の取組を支援し、地域の自立的な成長を促すことが重要である。					【開発課題への対応方針】 ASEAN連結性・メコン地域の連結性の向上のため、政策提言・制度づくり支援、税関等の物流システム改善に資する支援を実施・検討する。また、日・ASEAN間の人的ネットワーク強化支援、ASEAN統合イニシアティブ（IAI）に基づく域内格差是正支援を推進する。加えて、越境性感染症対策などへの支援を通じて、域内の食料安全保障を強化する。					
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	支援額 (億円)
ASEAN・メコン地 域連結性強化、 格差是正プログラ ム	ASEAN連結性の向上のため、政策提言・制度づくり支援、税関等の物流システム改善に資する支援を行う。また、日・ASEAN間の大学間ネットワークを活用した工学高等教育の支援を行う。 IAI支援としてタイに強みがある分野において、日タイ協働に基づく第三国研修等による支援を行う。	ミャンマー向け三角協力	第三国研修	■	■						
		メコン諸国のための鉱工業指数導入	第三国研修	■	■						
		東南アジア地域低炭素・レジリエントな社会構築推進能力向上プロジェクト	技プロ	■	■	■				3.00	
		ASEAN災害医療連携強化プロジェクト	技プロ	■	■	■				4.05	
		メコン地域人身取引被害者支援能力向上プロジェクト	技プロ	■	■					3.05	
		メコン諸国のための素材加工技術	第三国研修	■	■						
		日ASEAN物流プロジェクト	国土交通省技協	■	■	■	■	■	■	■	■
		日ASEAN港湾技術共同研究プロジェクト	国土交通省技協	■	■	■	■	■	■	■	■

重点分野3 (中目標)	第三国支援の実施											
開発課題3-1 (小目標) ASEAN域外諸国への第三国支援	【現状と課題】 タイ政府は、技術協力を行う国際開発協力機構(TICA)、資金協力を行う周辺国経済開発協力機構(NEDA)という援助実施機関を有し、周辺国等への開発協力に取り組んでいる。アジアにおける日本の援助の成功例であるタイと協働し、両国が支援すべきと考える第三国への支援を実施することにより、周辺国やASEAN域外諸国への協力を推進するとともに、タイの援助国としての能力強化も望まれる。				【開発課題への対応方針】 日タイ双方が支援すべきと考える第三国に対し、パートナーとして協力して支援を行う。 日タイに比較優位があり、かつ、既往の協力成果に基づく知見を有効に活用することが可能な分野への協力を、日タイ協働で実施する。また、タイとの協力を通じて、タイの援助能力強化、日タイの関係強化を図る。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	支援額 (億円)	備考
	第三国支援プログラム	周辺国やASEAN域外諸国の開発課題等に対し、裨益国のニーズを踏まえつつ日タイ協働で実施する。	ASEAN及びBIMSTEC域内ネットワーク強化のための国際道路インフラ開発 皮膚科医育成のための国際ネットワーク強化プロジェクト	第三国研修 技プロ	—	—	—	—	—	—	—	—

重点分野4 (中目標)	その他											
開発課題4-1 (小目標) その他	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2018 年度以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	支援額 (億円)	備考
	その他		その他の分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	—	—	—	—	—	—	1.15	
			法制分野の中核人材育成	国別研修	—	—	—	—	—	—	—	—
		公共政策トップリーダー・コース (SDGsグローバルリーダー)	国別研修	—	—	—	—	—	—	—	—	

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「———」(＝実施期間)、破線「- - -」(＝実施予定期間)